

職員による自己評価

A 環境面

大部屋と個室があり、十分なスペースを確保している。交代で公休を取ることで、人員配置を厳守できている。防犯カメラを設置し様子を確認できるようにしている。

B 児童への支援内容

定期的に全職員が研修を受けている。また、お子様の利用時毎に職員間にて話し合いをしている。

C 関係機関との連携

子ども部会の参加や、幼稚園・保育園訪問で連携を図っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

事業所内にて相談を行い、寄り添う姿勢を大切に取り組んでいる。

E 非常対応

避難訓練の実施している。回を重ねるごとにスムーズに行動できるようになっている。虐待防止研修の実施。

保護者による評価

A 環境面

動くスペースもしっかりとあり、個人スペースも良い狭さ。また、きれいに整理されている。先生の専門性も高いです。

B 児童への支援内容

苦手と得意をバランスよく取り合わせてくれている。子どもの課題を親身に聞いてくれる。

C 事業所からの情報発信

セラピーノートのほか日々のフィードバックで詳しく伝えてもらっている。今の課題や要望を伝える機会が多くて助かります。

D 非常対応

避難訓練はありますが、その他のマニュアル等は説明されてないかと思います。



事業所内での分析

【共通点】

広いスペースを使って、身体を動かすこともでき、楽しく過ごせている。要望に応じた療育を工夫して行っている。一人一人に寄り添う、あたたかな支援をしている。

【相違点】

ST による支援を希望。
→ 応募をかけているが、採用に至っていない。既存のスタッフで言語模倣、口形模倣で言葉のセラピーを続ける。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

大部屋と個室があり、活動に応じて広いスペースを有効活用している。
社内研修を受けることにより、継続した支援を提供できた。
保護者様に寄り添うことを心掛け、相談支援に力を注いでいる。
個別療育を実施しており、個に応じた支援の提供ができています。
内部研修のみならず、外部の研修も受け、支援のスキルアップが図れている。

事業所の改善点

行き渋りがあるところのご意見が出ているので、また次も行きたいと思ってもらえるように支援に工夫を凝らしていく。
社員研修にも力を注ぎ、子どもの接し方や保護者様対応についても学ぶ機会を設けていく。

事業所の改善への取り組み

これからもセラピーの質の向上を目指す。
子どもの接し方や保護者様対応について社内研修を行う。
ご要望がたくさんあるので、事業所内相談と関係機関連携の実施を続けていく。
こども部会の参加などで、他事業所との関わりも持てるようにしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々のお悩みや心配事を聞く機会を設けることで、保護者様の安心感に繋がっていることを感じた。
これからも寄り添う姿勢を大切にして支援を続けていきたい。
スタッフ間のチームワークの良さも強みになっていると感じるので、
相談しやすく働きやすい環境を整えていきたい。

事業所名 てらびあぼけっと市が尾教室

担当者 管理者 関谷友子